

2018年度 日本獣医がん学会 第1回 雑誌編集委員会会議

日時：2018年7月7日(土) 12:00-12:50

場所：東京コンベンションホール（東京・第19回学会会場）

次第

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 報告事項
 - (1) 論文進捗状況【資料1】
 - (2) メール会議（2018年2月26日）：早期公開についての意見交換【資料2】
 - (3) 投稿規程の総会審議【資料3】
4. 審議事項
 - (1) 第1号議案 雑誌編集進行管理の委託について
 - (2) その他
7. 閉会

3. 報告事項

(2) メール会議 (2018年2月20-26日) : 早期公開についての意見交換【資料1】

【資料1】

メール会議 (2018年2月20-26日) : 早期公開についての意見交換

<経緯>

日本獣医がん学会雑誌は、これまで、巻号が決定していても短報なら複数の論文、原著1本+短報1本などが揃わないとJ-Stageで公開することができず、論文の公開が遅れてしまうという現象が起きていた。

これまで利用していなかった「早期公開」の「提供サービス利用申請書」を提出して、採択論文の掲載が出来るように進めたいと考えた。

デメリットは、早期公開と通常公開の2度に渡り、書誌データ等の管理・確認が増えること、早期公開から通常公開はJ-Stageセンターでの作業や検証の管理が生じること、等、主に編集担当者への負担が増加する。

ただし、早期公開できれば、採択論文を早く世に発表することができ、デメリットを超えるメリットがあると思われ、申請および「早期公開」についてご意見を募った。

なお、「早期公開」後に「通常公開 (これまでの公開方法)」を必ず行うことが条件ですが、これは論文が揃い次第、実行する予定。

<審議期間>

2018年2月20日~26日締切

<結果>

委員から返信があった方は全員賛成で、否定する意見が無かったため、J-Stage早期公開の申請を2018年3月12日に提出した。

(1) 論文進捗状況

- ・2017-017 2018年4月17日早期公開
- ・論文1本が査読を終了し、英文査読へ依頼するところ
- ・その他、編集委員会編集担当者の業務過多により、進捗管理に滞りが生じている。
その中には、論文修正依頼後にコレスポন্ディングオーサーから返却がないもの、査読が完了してコレスポন্ディングオーサーに返送できていないものがある。
これらを改善する策を早急に考える必要が生じている。

(3) 投稿規程の総会審議【資料2】

修正点を出席者の委員で確認し、資料2のとおり合意した。

6. 審議事項

(1) 第1号議案 雑誌編集進行管理の委託について

3. 報告事項(1)のとおり、雑誌編集担当の業務を出版社、学術雑誌制作会社もしくは個人の編集者(在宅可能)で外部委託先を検討する。

雑誌は本学会にとって、認定医制度と共に学術活動の両輪でもあり、投稿者への早期結果を傳達することは、最重要事項である。そのコスト(現状60万円/年)を上げてでも、発行することを最優先で進める。

(2) その他

特になし。

以上。